

総説論文

国際誌

- 1) Shinji Koizumi (2004) Application of DNA Microarrays in Occupational Health Research. J Occup Health 46, 20-25.
- 2) Mariko Ono-Ogasawara, TJ Smith (2004) Diesel exhaust particles in the work environment and their analysis. Industrial Health 42, 389-399.
- 3) Derek Richard Smith, Rui-Sheng Wang (2004) Occupational health and safety in China. J Occup Health Safety — Aust NZ 20, 441-444.

国内誌

- 1) 北村文彦, 久永直見, 小林廉毅(2004)マンガン中毒によるパーキンソン症候群とマンガン曝露量の評価について - 曝露評価におけるMRI, 鑑別診断におけるPETの可能性 - .産業医学ジャーナル 27, 66-70.
- 2) 神山宣彦(2004)石綿の健康影響と今後の管理.産業衛生誌 46(3), A1-A3.
- 3) 前田節雄(2004)建物内振動評価の国際動向について.環境管理 40(5), 30-36.
- 4) 前田節雄(2004)生活環境における振動の評価.日本音響学会誌 60(9), 538-542.
- 5) 前田節雄(2004)ISOの現状と今後の対応.建築技術 11, 111-113.
- 6) 健康影響評価検討委員会有機塩素系化合物・炭化水素類評価作業省委員会(担当委員 佐藤章夫, 宮川宗之)(2004)クロロホルムの健康影響について.大気環境学会誌 39(特別号), S3-S25.
- 7) 森永謙二(2004)胸膜中皮腫の疫学.胸部臨床 63(3), 247-251.
- 8) 森永謙二(2004)中皮腫の疫学.臨床と病理 27(7), 660-666.
- 9) 明星敏彦, 小野真理子(2004)質量分析計を用いたエアロゾル粒子のリアルタイム計測装置.エアロゾル研究 19, 10-13.
- 10) 小嶋 純(2004)金属研磨作業による粉じん曝露とその対策.セイフティダイジェスト 50(11), 17-24.
- 11) 大塚泰正, 小杉正太郎(2004)調査法による「生産性が低下したメンタルヘルス不全社員」の発見と対応.産業ストレス研究 11, 223-238.
- 12) 大塚泰正, 鈴木綾子(2004)イギリス鉄道における安全文化研究.産業精神保健 12, 227-231.
- 13) 澤田晋一(2004)作業温熱条件と安全衛生(熱中症) 産業衛生技術講座.産業衛生学雑誌 46, A77-A79.
- 14) 鈴木 亮(2004)眼の性差:とくに性ホルモンによる眼疾患の修飾(眼の性差と社会医学.感覚器の基礎,臨床,社会医学).分子細胞治療 3(1), 130-134.
- 15) 鈴木 亮(2004)左顔前美人と表情の眼科学(眼瞼学からの1考察).分子細胞治療 3(2), 247-250.
- 16) 鈴木 亮(2004)ソフトコンタクトレンズに関する誤解と先端医学.先端医学 3, 369-374.
- 17) 鈴木 亮(2004)手術やレーザーを用いない矯正視力の先端医学.オルソケラトロジーを用いた視力向上.先端医学 3, 469-473.
- 18) 鈴木 亮(2004)視力と読書の先端医学—読みやすさの眼科学的、心理学的、社会医学的研究.分子細胞治療 3(5), 567-571.
- 19) 鈴木 亮(2004)角膜移植—眼球移植の不思議と社会医学.分子細胞治療 3(6), 646-650.
- 20) 高橋正也(2004)交代勤務の問題点. Clinical Neuroscience 22, 92-94.
- 21) 高橋正也(2004)労働を上質にする対策における概日リズム機構の意義.臨床脳波 7, 435-441.

- 22) 高橋正也(2004)特集 / 睡眠関連疾患診療のノウハウ. 固有の診療科を離れた立場から - 勤務者. 診断と治療 92, 1213-1218.
- 23) 高橋正也(2004)2)仮眠の効果についてのエビデンス. 特集 / 夜勤と疲労をめぐるエビデンス 5. 夜勤と疲労・安全. EB Nursing 4, 26-32.